

精華町教育委員会会議 議事録

令和5年（第12回）

1 開 会 令和5年12月19日(火) 午後2時30分
閉 会 令和5年12月19日(火) 午後3時10分

2 場 所 精華町役場 3階 301会議室

3 出席委員 川村教育長 松下教育長職務代理者 新司委員
井上委員 高岡委員

4 欠席委員 なし

5 出席事務局職員

浦本教育部長 有城総括指導主事
俵谷学校教育課長
糸山学校教育課担当課長(施設担当)
川畑学校教育課担当課長(学校給食担当)
田原生涯学習課長 平井学校教育課主幹

6 傍聴者 0名

7 議事の概要

(1) 開会及び冒頭あいさつ

教育長から第12回教育委員会会議の開会を宣言。

(2) 第1回臨時教育委員会会議議事録について

教育部長から令和5年第1回臨時教育委員会会議の議事録について説明。

【採 決】

・全員承認

(3) 第11回教育委員会会議議事録について

教育部長から令和5年第11回教育委員会会議の議事録について説明。

【採 決】

・ 全員承認

(4) 教育長報告事項

1 2月3日、木津警察署と相楽交通安全協会が主催の相楽子どもの交通安全意見発表会があった。相楽地方の小学6年生が木津川市のアスピアやましるに集まり、交通安全についての作文を通じて意見発表するというもので、各学校の代表1人から発表があった。この発表会の直前に木津川市で子どもが亡くなる事故が起こっていて、発表された作文はそれより前につくられていたので、その事故を反映したものはなかったものの、そのような事故が現実にあった中での発表だったので、何か真に迫るものがあった。

1 2月16日、京都府立けいはんなホールで京都廣学館高等学校吹奏楽部の定期演奏会があった。この間、同校には、今年は残念ながら出演していただけなかったが昨年まで子ども祭りに参加いただいたり、それを通じて楽器の貸与を受けたりしており、また、今年は秋から部活動地域移行の関係で、同校を会場に精華町の子どもたちが土日に練習する機会に恵まれ、そういった関係でいろいろお世話にもなっている。演奏会は大変迫力のあるすばらしい演奏だった。

また、以前にも報告したが、精華南中学校が総合的な学習の時間として地域貢献プロジェクトという取組をしている。対象学年を拡大しながら続けているが、今回は3年生がオンラインで発表を行った。

子どもたちは3、4人程度の班に分かれ、まちの行政、まちづくりに関する課題の中から自分たちでテーマを設定し、インターネットや役場への聴取により情報収集した内容からプレゼンの準備をして、それを私が講評するという形をとった。

テーマの一例を紹介すると、ふるさと納税で精華町は赤字だが今後どうすれば解消できるか、中高生の図書館の利用をどうすれば促進できるか、京阪奈新線の新祝園ルートの認知度はどうすれば高められるかなどである。

精華南中学校では、総合的な学習の時間でキャリア教育として勤労体験学習をやっていたが、それを発展させてきたものであり、主権者教育の一環としても再度位置づけして取り組まれている。

また、精華南中学校だけではなく精華西中学校でも、今年から勤労体験学

習を課題解決型に転換して実施している。まだ詳しいことは聞けていないが、現行の学習指導要領に沿った総合的な学習の時間の再構築が今、中学校で行われている。これらは各校長の指導で進められており、それを中堅の教員が支えている。

先般、PISA2022の結果が発表された。これはOECDが3年に一度行う、15歳を対象とした調査である。数学的リテラシーの分野で日本は前回6位だったが今回は5位になっている。また、読解力は同じく15位から3位に、科学的リテラシーは5位から2位と順位が上がっている。

単純な順位だけでなく、その他にも様々な観点のものが資料としてまとめられているので、資料のボリュームは多いが、また確認いただければと思う。

今回は北京、上海、江蘇省、浙江省が参加していない。江蘇省とは南京などがある省で、浙江省は杭州がある省だが、北京、上海、江蘇省、浙江省だけで人口が2億人もあるので、それらが参加していない状況の中では、はっきりと順位が上がったと言えるのは読解力の分野だけではないかと思う。

かつて、2003年のPISA調査で、日本の子どもたちの読解力の順位が8位から14位に転落した。その後の2006年も15位に低迷したため、当時は調査に参加していた国や地域は今の半分ほどだったが、いわゆるPISAショックとして話題となった。

この時に、ゆとり教育がやり玉に挙げられた経過があり、この時期、井上委員と松下委員は京都府の学校教育課でこの問題に取り組んでおられたと思うが、私もその1年遅れで関わっている。

今回のPISA2022の結果が示すところから、参加国や地域が増えてきた中で、順位としては一応トップクラスにあり、我が国の小中学校における学力の充実、向上の指導は、子どもたちの平均で語れば成功していると言えるのではないかと思う。先般行われた校長会で、これを職員とともに話題にして、先生方がされている仕事の成果が表れていると励ましていただきたいと伝えた。

先日スポーツ庁の室伏長官のお話を伺う機会があり、室伏長官は日本は今やスポーツ大国だとおっしゃっていた。発言の根拠までははっきり分からなかったが、スポーツでの成果や学力というものは、日本にとっては宝だと思う。

このようにスポーツや学力の面で活躍する中で、今、働き方改革や部活動

の地域移行などが進められている。これらの活躍が何によって支えられてきたかということをよく考えながら、働き方改革などの取組を進めていかなければならないと思った。

少し自分の思いも含めて話したが、私からの報告は以上である。

【委員からのご意見】

松 下 委 員 P I S A 調査については、我々が今後、どう考えていけばよいのか、現場の先生方と一緒にどうしていけばよいのかを検討していく資料になると考えている。

今回順位が大きく上がった理由だが、文部科学省の分析では、3点ほど挙げられている。

1点目は、話合いの授業をしていこうということで、現行の学習指導要領の主体的・対話的で深い学び、これが少し功を奏してきたのではないか、つまり、小中学校の教育の成果が去年の高校1年生あたりから出てきているのではないかということである。

2点目は、コロナ禍によって文部科学省を中心にデジタル環境が一気に全国的に浸透していき、デジタルで回答する本調査に子どもたちが慣れてきたのではないかということである。

3点目は、同じくコロナ禍の中で、日本はレジリエント、つまり、強靱で柔軟な教育が行われた国の一つとされていることである。学校運営が非常に難しい中だったが一時的な休業の後、すぐに対応して学校教育を開始したという点が評価されたものである。

その一方、基準日や抽出対象などは不明だが、世界的な基準で見ると、日本はICT機器の整備は充実しているのだが、学校教育の中での使用頻度としては低い方とされているようなので、今後の課題ではないかと思う。

今年の学校訪問時の印象として、ICT機器を使っている学校はどんどん使っているのだが、使っている光景がほとんど見られない学校もあり、精華町でも1つの課題なのではな

いかと感じたので、このPISAの結果をどう生かしていくかということ、可能であれば検討してもらえたらありがたいと思う。

2003年と言えば、私は行政から学校現場へ出た2年間だったが、教育長がおっしゃったように、ゆとり教育の関係で、総時間は一緒だが英語が全学年で4時間から3時間になったり、理科と数学が学年によっては時間数が大きく減ったりした分、総合的な学習の時間が倍になったりということで、少し混沌とした時があった。それはそれで国としての施策だったのだが、結果的にこのPISA調査で低い結果が出てしまったため、また元に戻したという経過がある。

国の施策は、世界がどちらを向いて動いているか、何を求めているのかということも踏まえて決定されていくことを改めて感じた。

井上委員 子どもたちの読解力が上がっているという結果は非常に喜ばしいが、あくまでも国全体での話なので、私としては、精華町の学力テストの結果分析の方をより重視していくべきかと思う。

(5) 事務局からの諸報告

教育部長 1 精華町議会定例会12月会議の教育委員会関係の対応状況について

精華町議会定例会12月会議が11月28日から12月20日までの23日間で開催されている。

今議会での教育委員会関係の議案と一般質問などの対応状況を報告させていただく。

まず、議案関係では、議案第71号において、松下教育長職務代理者の再任について、全会一致で承認をいただいた。

また、議案第73号の補正予算関係では、小中学校の管理運営事業において、燃料費の高騰による電気料金の上昇に加え、夏季の外気温上昇に伴う空調設備等の運転による

電気使用量の増加、それに加えて、中学校ではプール授業の再開による水道使用量の増加によって光熱水費の不足で見込まれるため、予算の追加計上をお願いした。

次に、一般質問については、全体で15名の議員から質問の通告があり、教育委員会関係では6名の議員から質疑があった。

学校に関わる質疑としては、2名の議員から学校給食の無償化について早期実施を求めるものがあり、その他では、小中学校の施設等の維持管理について、インクルーシブ教育に関する見解について、がん教育の充実について、スクールカウンセラーについて、小中学校体育館へのエアコン設置について、山田荘小学校、精華南中学校区の教育ビジョンについてなどの質疑があった。

その中でも、先月の教育委員会において、来年度予算要求の概要説明をさせていただいたが、小中学校体育館へのエアコン設置や山田荘小学校、精華南中学校区の教育ビジョンの検討については、調査や研究をスタートするための予算要求を実施しており、多額の財源、お金、予算を必要とする事業ではあるが、教育委員会事務局の重要な課題でもあるので、計画的に進めていきたいと考えている。

それ以外にも教育委員会から議会へ報告をする行政報告や一般住民の方が議会に対して様々な要望をされる請願などもあった。議会日程は最終日を残すのみだが、各委員会へ審議を付託された議案や請願について、各常任委員長から本会議へ報告があり、採決が実施されることになる。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

1 1月の問題事象はゼロ件。

不登校の児童数は22人。

(2) 中学校

1 1月の問題事象はゼロ件。

不登校の生徒数は53人。

総括指導主事 2 重災害事故報告について

1 1月の重災害事故の報告は2件。

1件目は、生徒同士の自転車の接触で、交通事故としてカウントされているが、けがの状況については擦り傷程度の軽傷だった。

2件目は、中学校の体育の授業中マット運動で頭部を打撲したため、念のため救急で病院に搬送されたが、異常なしのことだった。

総括指導主事 3 インフルエンザによる臨時休業について

1 1月は小学校5校中4校、中学校3校中2校で学級閉鎖、学年閉鎖があり、12月に入ってもインフルエンザの流行は継続している状況である。

生涯学習課長 1 行事の実施予定等について

1点目は令和5年度精華町二十歳のつどいの開催について、既に教育委員の皆さんには案内を送らせていただいたが、年明け1月8日の成人の日、午後1時半から開式予定としており、けいはんなプラザの京都府立けいはんなホールで開催する。対象者は450人程度を見込んでいるが、参考までに昨年の出席率は74.5%だった。この間、コロナの関係で毎年規模縮小するなどの工夫をしながら開催してきたが、今回は、教育委員の皆さんのご臨席をお願いする。また、式典時間については30分で計画しており、精華町少年少女合唱団にオープニングで歌を披露してもらおう。式典の後は、恩師の方と二十歳の青年との交流会のような形式で進めていく計画である。二十歳の若者8名が二十歳のつどいの実行委員会を運営しており、小中学校当時の恩師をご招待している。そして家族の来場についても、コロナ禍のこの間は遠慮いただく形で実施していたが、今回は家族にも入っていただけるよ

うにすることで予定している。

2点目は精華町文化財愛護会公開講演会の開催について、主催は精華町文化財愛護会で、1月27日の午後2時から役場交流ホールにおいて、京都府教育委員会の文化財保護課の技師である桑原正明氏をお招きし、「精華町の仏像彫刻～近年の京都府文化財調査から～」というテーマで講演いただくことになっている。今年、里区の想念寺の木造薬師如来坐像の保存・修理に当たっているのだが、それについての話や、京都府教育委員会が近年行った文化財調査における精華町や南山城地域の仏像についての解説をしていただく。

(6) 後援関係

11月から12月にかけて受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数6件、すべてが生涯学習課の社会教育課係の担当となっている。

(7) 1月の行事予定

12月20日から1月25日までの間、精華町教育大綱の改定案に対するパブリック・コメントを実施する。

また、町立小・中学校の冬季休業期間が1月8日で終了となり、翌9日に3学期の始業式が実施される予定である。

また、生涯学習課長から報告があったとおり、1月27日には役場交流ホールにおいて文化財愛護会主催の公開講演会が開催される。

(8) 閉会

教育長が第12回教育委員会の閉会を宣言。